SONY

ユーザーガイド

SmartBand

SWR10

2014年4月(第1版)

目次

基本操作 3
はじめに 3
ハードウェアの概要 3
本機を充電する 4
アプリケーションのダウンロードとインストールについて 4
リストバンドにセットする 5
電源をオン／オフにする 5
リセットする 5
Android 機器との接続方法 6
日中モードと夜間モード 7
SmartBand の設定 8
SmartBand の設定編集画面を表示する 8
SmartBand アプリケーションの設定編集画面について 8
自動夜間モード 8
通知 8
スマートウェイクアップ／アラーム 9
接続範囲外アラート 9
着信通知 9
アプリケーションの操作 10
Lifelogアプリケーションで活動を記録する 11
Lifelogアプリケーションの利用 11
アクティビティについて 13
Life Bookmark の作成 14
重要な情報 15
防水／防塵性能 15
ご使用にあたっての注意事項 15
Legal information 16
Declaration of Conformity for SWR10 16

これはインターネット版刊行物です。© 個人使用目的でのみ印刷することができます。

基本操作

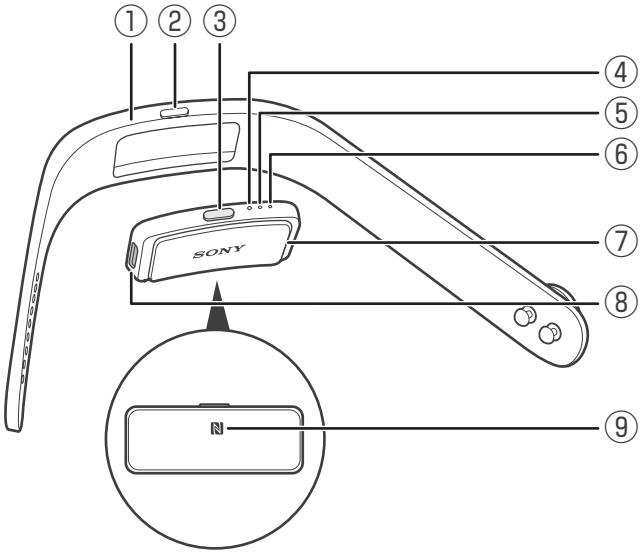
はじめに

本機は Android 機器と接続し、日々の活動を記録したり、通話やメッセージなどの受信を振動でお知らせしたりします。
また、Lifelog アプリケーションとデータを同期し、フィジカルアクティビティ（歩数など）やエンターテイメントアクティビティ（カメラ、音楽など）のログを見ることもできます。
本機を Android 機器に接続していないときでも、歩数などのデータと Life Bookmark が収集されます。本機にこれらのデータを保存できるのは最大 2 週間分です。

! 注意

- SmartBand を Android 機器と使用するには、Android 機器のソフトウェアバージョンが Android ™ 4.4 以上で、Android 機器が *Bluetooth*® 4.0 Low Energy 標準に対応していることを確認してください。
- 本機と Android 機器との間でデータを同期させるにはインターネット接続が必要です。
- 本機および本機に搭載されるアプリケーションは診断、治療、病気の予防、身体の構造または機能に影響を与えることを目的として設計されておりません。本機および本機に搭載されるアプリケーションはそれらの目的では利用できません。

ハードウェアの概要



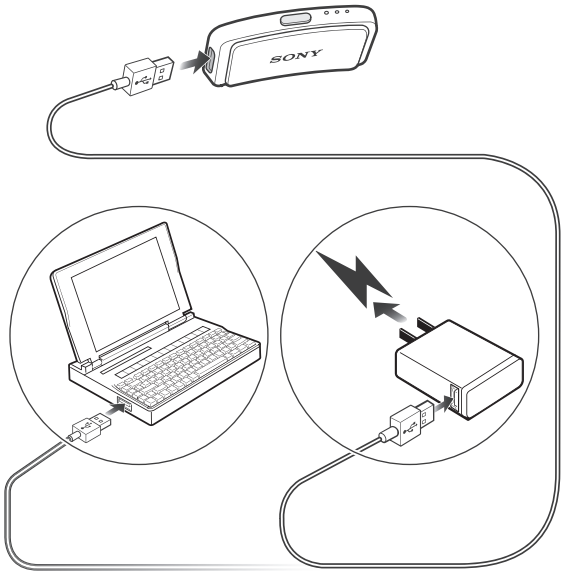
①	リストバンド
②	電源キーカバー
③	電源キー
④	通知 LED A
⑤	通知 LED B
⑥	通知 LED C
⑦	コア
⑧	microUSB 接続端子
⑨	N マーク ワンタッチ接続（NFC）時、ここにタッチします。

これはインターネット版刊行物です。© 個人使用目的でのみ印刷することができます。

本機を充電する

付属の microUSB ケーブルを AC アダプターまたはパソコンに接続して、最長で約 1 時間充電します。

- 充電にかかる時間は、電池残量や環境によって異なります。
- AC アダプターは付属されていません。



通知 LED のパターン

充電中	通知 LED A が点滅します。
充電完了	通知 LED A が点灯します。

電池残量を確認する

SmartBand アプリケーションで本機の電池残量を確認することができます。

- 本機と Android 機器が接続されていないと、SmartBand アプリケーションで本機の電池残量を確認することはできません。接続方法については、P6「Android 機器との接続方法」をご覧ください。

1 本機と Android 機器が接続されていることを確認する
2 Android 機器のステータスバーを下にドラッグし、「SmartBand」をタップする
   - 画面上に電池残量が表示されます。

ヒント

- 本機の電源がオンの状態で、Android 機器と接続されている場合、電池残量が 5% 以下になると、本機が 2 回短く振動し、SmartBand アプリケーションのポップアップウィンドウに本機の電池残量が少なくなったことが通知されます。

アプリケーションのダウンロードとインストールについて

本機と Andoroid 機器を接続して使用するには、スマートコネクトアプリケーション、SmartBand アプリケーションおよび Lifelog アプリケーションの最新バージョンが Andoroid 機器にインストールされている必要があります。インストールされていない場合は Google Play ストアよりダウンロードして、インストールしてください。

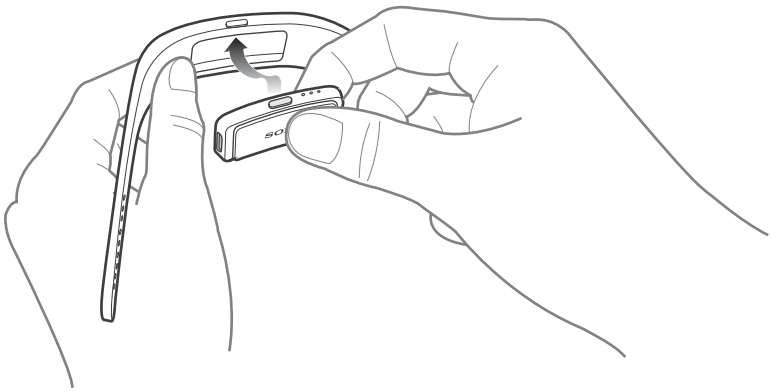
- Xperia には、あらかじめスマートコネクトアプリケーションがインストールされています。
- 本機を Android 機器に接続した後に Android 機器のステータスバーを下にドラッグし「SmartBand」をタップすると、SmartBand アプリケーションを起動することができます。

これはインターネット版刊行物です。© 個人使用目的でのみ印刷することができます。

リストバンドにセットする

電源キーの突起がリストバンドの電源キーカバーの突起部分に入るようにはめ込み、コアの SONY ロゴが見えるようにリストバンドにセットします。

- セットする向きにご注意ください。
- 付属のリストバンドには「S」と「L」の 2 サイズがあります。お客様に合ったサイズのリストバンドをご使用ください。



電源をオン／オフにする

電源をオンにする

本機が振動するまで電源キーを長押しします。

- お買い上げ時やリセット後に初めて電源をオンにしたときは、自動的にペアリングモードになり、通知 LED A が点滅します。

電源をオフにする

本機の通知 LED が 3 つとも同時に点灯した後、すべての通知 LED が消灯するまで電源キーを約 6 秒長押しします。

- 通知 LED は 1 つずつ消灯します。

リセットする

予期しない動作が発生する場合や新しい機器に接続する場合は、本機をリセットしてください。リセットすると、ペアリングされた機器に関する情報や設定などはすべて削除されます。

本機をリセットする

1. 本機の電源をオフにする
2. 通知 LED A が点滅し始めるまで電源キーを約 16 秒長押しする

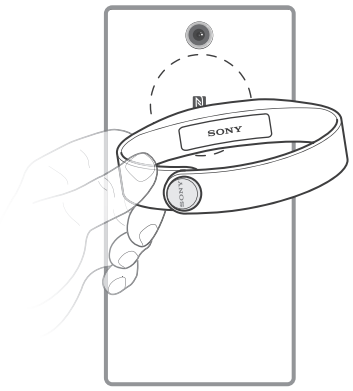
これはインターネット版刊行物です。© 個人使用目的でのみ印刷することができます。

Android 機器との接続方法

はじめて本機と組み合わせて使う場合は、最初にペアリング（機器登録）をしてください。次の 2 つの接続方法から選んで行ってください。

ワンタッチ接続（NFC）

1 Android 機器にスマートコネクトアプリケーションがインストールされていることを確認
2 本機の電源をオンにする
3 Android 機器の NFC 機能をオンにする
4 Android 機器に本機の N マークを近づけてタッチし、画面の指示に従って接続する
- 本機の N マークを Android 機器に近づけてタッチする際には、Android 機器の画面が点灯し、ロックが解除されていることを確認してください。
- SmartBand アプリケーションと Lifelog アプリケーションがインストールされ接続が完了とすると、Android 機器のステータスバーに「SmartBand が接続されました」などが表示されます。



マニュアル（手動）接続

1 Android 機器にスマートコネクトアプリケーションがインストールされていることを確認
2 本機の電源をオンにする
3 Android 機器の *Bluetooth* 機能をオンにする
4 Adnroid 機器の *Bluetooth* 設定画面で本機を検索し、画面の指示に従って接続する

ヒント

- うまく接続できない場合や、「切断されました。NFC で再接続して下さい。」などのメッセージが表示された場合は、Android 機器の *Bluetooth* 機能を一旦オフにした後、再度オンにしてください。Android 機器は待受状態になり、本機からの信号を受信すると接続しようとします。接続が完了すると、Android 機器のステータスバーに「SmartBand が接続されました」などが表示されます。

再接続する

本機と Android 機器の接続が切断された場合は、ワンタッチ接続（NFC）またはマニュアル（手動）接続の手順 2 から操作して再接続してください。

これはインターネット版刊行物です。© 個人使用目的でのみ印刷することができます。

日中モードと夜間モード

本機には、日中モードと夜間モードという 2 つのモードがあります。
日中モードでは、SmartBand の振動でアラームやメッセージまたは電話の着信が通知されます。また、活動に関するデータ（歩数や歩行した時間の長さなど）も記録されます。夜間モードでは睡眠を記録します。アラームを設定しておくと、目覚ましとして使うことができます。その他の機能はすべてオフになります。

- 本機が Android 機器に接続されているときに電源キーを短く押すと、通知 LED の点滅パターンでモードを確認することができます。

モード	通知 LED のパターン
日中モード	通知 LED が 1 つずつ点灯した後すべての LED が消灯します。
夜間モード	通知 LED が 1 つ点灯した後に 2 つ点灯します。

日中モードと夜間モードを切り替える

電源キーを約 3 秒長押しします。

ヒント

- SmartBand アプリケーションで自動夜間モードをオンにすると、設定された時間に自動で夜間モードに切り替わります。

これはインターネット版刊行物です。© 個人使用目的でのみ印刷することができます。

SmartBand の設定

本機の設定の表示や変更は、SmartBand アプリケーションから行います。

SmartBand の設定編集画面を表示する

1 本機と Android 機器が接続されていることを確認する
2 Android 機器のステータスバーを下にドラッグし、「SmartBand」をタップする
- SmartBand アプリケーションが起動します。
- スマートコネクトアプリケーションの機器の一覧から「SmartBand」をタップして、SmartBand アプリケーションを起動することもできます。

3 「Smartband　設定を編集」をタップする

SmartBand アプリケーションの設定編集画面について

SmartBand アプリケーションの設定画面で表示される項目は次の通りです。

自動夜間モード	自動夜間モード機能のオン／オフを切り替えたり、自動夜間モードの時間を設定したりします。
通知	Android 機器からの通知のオンとオフを切り替えたり、本機に通知を転送するアプリケーションを選択したりします。
スマートウェイクアップ	スマートウェイクアップ機能のオン／オフを切り替えたり、時間の設定などをしたりします。
アラーム	Android 機器で設定したアラームが鳴ったときに本機を振動して通知するかどうかをオン／オフで切り替えます。
接続範囲外アラート	本機と Android 機器が接続範囲を越えたときのアラートのオン／オフを切り替えます。
着信	通話着信通知のオン／オフを切り替えます。
アプリケーション	本機で操作するアプリケーションを選択します。
ご利用のヒント	本機に関するヒントが掲載されています。

自動夜間モード

自動で夜間モードになる時刻を設定します。自動夜間モードを設定すると、日中モードと夜間モードを手動で切り替える必要はありません。

自動夜間モード機能をオンにする

1 SmartBand アプリケーションの設定編集画面を表示する
2 「自動夜間モード」の OFF をタップまたは右側にドラッグする

自動夜間モードの時間を設定する

1 SmartBand アプリケーションの設定編集画面を表示する
2 「自動夜間モード」をタップする
3 開始時刻と終了時刻を設定する

通知

メッセージの着信を通知します。また、本機に転送する通知のアプリケーションを選択すると、本機が振動して知らせます。

- 本機を夜間モードに設定しているときは、通知は転送されません。

通知機能をオンにする

1 SmartBand アプリケーションの設定編集画面を表示する
2 「通知」の OFF をタップまたは右側にドラッグする
3 「通知」をタップし、本機に転送したい通知のアプリケーションにチェックを入れる
- メッセージを着信すると、本機が 1 回振動した後、通知 LED A が約 6 秒間隔で点滅します。

これはインターネット版刊行物です。© 個人使用目的でのみ印刷することができます。

スマートウェイクアップ／アラーム

ユーザーの眠りが浅いときに振動して知らせる「スマートアラーム機能」と、Android 機器と接続中にアラームが設定されていると、振動して知らせるアラーム機能があります。

スマートウェイクアップを設定する

1 SmartBand アプリケーションの設定編集画面を表示する
2 「スマートウェイクアップ」をタップし、

をタップまたは右側にドラッグする
3 アラーム内容をタップする
- 設定画面が開きます。

4 「時間」、「繰り返し」、「ウェイクアップの間隔」を設定し、「完了」をタップする

ヒント

- 夜間モード中は設定したウェイクアップの間隔時間に合わせて、設定した時間までの間で眠りの浅いときに振動します。日中モード中は設定した時間に本機が振動します。
  ＜例＞時間：7 時
  ウェイクアップの間隔：20 分
  6 時 40 分～ 7 時までの間で、眠りの浅いときに振動します。

アラーム通知をオンにする

1 SmartBand アプリケーションの設定編集画面を表示する
2 「アラーム」のチェックボックスにチェックを入れる
- アラーム通知がオンになります。Android 機器で設定したアラーム時刻になると、本機が振動します。

ヒント

- Android 機器でアラームが設定されていない場合は、本機は振動しません。Android 機器でのアラーム設定については、お使いの Android 機器の取扱説明書などでご確認ください。

アラームの振動を止める

電源キーを押します。

接続範囲外アラート

本機と接続された Android 機器が接続範囲を超え接続が切断されると、振動して知らせます。

接続範囲外アラートをオンにする

1 SmartBand アプリケーションの設定編集画面を表示する
2 「接続範囲外アラート」のチェックボックスにチェックを入れる
- 接続範囲外アラートがオンになります。

着信通知

本機と接続された Android 機器が通話着信すると、振動して知らせます。

着信通知をオンにする

1 SmartBand アプリケーションの設定編集画面を表示する
2 「着信」のチェックボックスにチェックを入れる
- 通話着信通知がオンになります。

これはインターネット版刊行物です。© 個人使用目的でのみ印刷することができます。

アプリケーションの操作

本機を使用して、接続された Android 機器で選択したアプリケーションを操作できます。

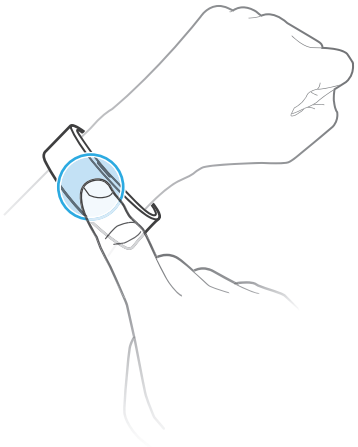
アプリケーションを選択する

1 SmartBand アプリケーションの設定編集画面を表示する
2 「アプリケーション」をタップする
3 操作したいアプリケーションを選択する

再生中のメディアを操作する

本機で操作できるアプリケーションとして「メディアプレーヤー」を選択すると、Android 機器で再生しているメディア（音楽や動画）を操作することができます。メディアを再生するアプリケーションはお持ちの Andoroid 機器によって異なります。

1 本機が Android 機器に接続されていることを確認する
2 本機で操作できるアプリケーションとして「メディアプレイヤー」が選択されていることを確認する
3 電源キーを押す
   • 通知 LED が 1 つずつ点灯した後、すべての LED が同時に消灯します。
4 本機をタップする
   • 通知 LED が 3 つとも点灯します。点灯している間は次の操作ができます。
   1 回タップ：メディアが再生／一時停止
   2 回タップ：次のメディアに進む
   3 回タップ：前のメディアに戻る



ヒント

- 本機をタップする際には、コアをタップしてください。リストバンドの上からタップしても操作できます。
- 電源キーを押す、または約 15 秒間操作しないと、操作可能な状態が解除されます。

これはインターネット版刊行物です。© 個人使用目的でのみ印刷することができます。

Lifelogアプリケーションで活動を記録する

Lifelogアプリケーションの利用

Lifelog アプリケーションは、運動や日常の活動、コミュニケーションなどを記録します。Lifelog アプリケーションを利用するには、Play ストアからアプリケーションをダウンロードし、アカウントを設定する必要があります。

Lifelogアプリケーションのアカウントを設定する

1 Android 機器で Lifelog アプリケーションを起動する
- 本機と Android 機器が接続されている場合は、Android 機器のステータスバーを下にドラッグし、「SmartBand」をタップし、アプリケーションの中から「Lifelog」を起動することができます。

2 画面に表示される指示に従いチェックボックスにチェックを入れて、「同意する」をタップする
3 新しいアカウントを作成するか、既存のアカウントを使ってサインインする

ヒント

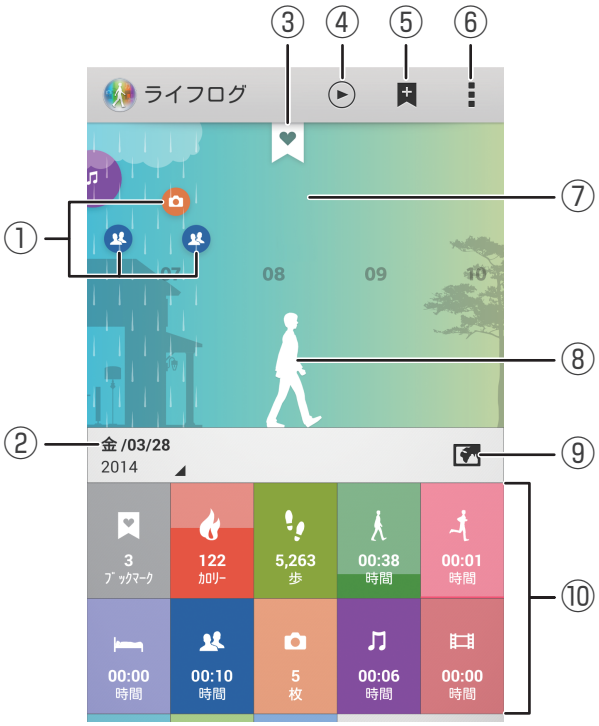
- お持ちの PlayStation®Network アカウントを使ってサインインすることができます。

Lifelogアプリケーションにログインする

1 Android 機器で Lifelog アプリケーションを起動する
- 本機と Android 機器が接続されている場合は、Android 機器のステータスバーを下にドラッグし、「SmartBand」をタップし、アプリケーションの中から「Lifelog」を起動することができます。

2 サインインしていない場合は、画面に表示される指示に従いサインインする

これはインターネット版刊行物です。© 個人使用目的でのみ印刷することができます。

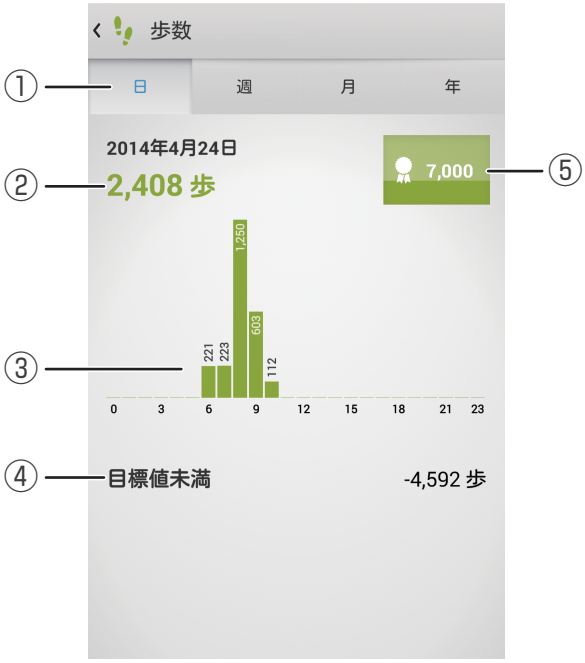


①	アプリケーション使用ログ タップすると、詳細情報を表示します。
②	選択した日に記録されたすべての活動を表示します。
③	Life Bookmark タップすると、詳細情報を参照できます。
④	Play the day ボタン その日の午前 0 時以降に記録されたすべての活動を表示します。
⑤	Life Bookmark 追加ボタン Life Bookmark を作成します。
⑥	メニューオプションを表示します。
⑦	ジャーニービュー 記録されたすべての活動と Life Bookmark を表示します。
⑧	身体的活動ログ
⑨	ダッシュボードと地図ビューを切り替えます。
⑩	ダッシュボード アクティビティをタップすると、詳細を表示できます。

これはインターネット版刊行物です。© 個人使用目的でのみ印刷することができます。

アクティビティについて

日々の活動の目標を設定したり、記録されたすべてのデータを詳細な情報とともにグラフで表示したりすることができます。



①	データの表示単位タブ タップすると日、週、月、年単位でデータを表示します。
②	現在の値 現在の活動を異なる単位で表示します。
③	活動グラフ 活動量を選択した単位で表示します。
④	活動に関する詳細
⑤	目標ダッシュボード 現在の目標のステータスを表示します。タップして目標を変更します。

目標を設定する

1 Android 機器で Lifelog アプリケーションを起動する
- 本機と Android 機器が接続されている場合は、Android 機器のステータスバーを下にドラッグし、「SmartBand」をタップし、アプリケーションの中から「Lifelog」を起動することができます。

2 ダッシュボードから目標を設定したいアクティビティをタップする
3 データの表示単位タブより「日」をタップし、「目標ダッシュボード」をタップする
4 目標となる値を調整し、「設定」をタップする

睡眠を記録する

本機は睡眠時間だけでなく、深い眠りや浅い眠りの時間のステータスなどを記録するので、睡眠の質を把握するのに役立ちます。

- 睡眠データは Lifelog アプリケーションに記録されます。
- 睡眠データを記録するには、夜間モードをオンにする必要があります。
- 睡眠データを表示するには、ダッシュボードから（睡眠）をタップします。

これはインターネット版刊行物です。© 個人使用目的でのみ印刷することができます。

Life Bookmark の作成

Life Bookmark を作成して、活動の時間と場所を保存することができます。

! 注意

- 場所のデータを保存するには、インターネットに接続している必要があります。

Lifelogアプリケーションを使用して Life Bookmarkを作成する

1 Android 機器で Lifelog アプリケーションを起動する
   - 本機と Android 機器が接続されている場合は、Android 機器のステータスバーを下にドラッグし、「SmartBand」をタップし、「Lifelog」を起動することができます。
2 をタップする
3 必要に応じてメモを追加して「OK」をタップする

本機を使用して Life Bookmark を作成する

1 本機が Android 機器に接続されていることを確認する
2 Lifelog アプリケーションにログインしていることを確認する
3 本機の電源キーを 2 回押す
   - 場所と時間を記録します。

ヒント

- ダッシュボードの中の（ブックマーク）をタップすると、記録された Life Bookmark のメモをみることができます。をタップすると、メモを追加することができます。

外形寸法	コア：（横）約 40.7mm ×（縦）約 15.3mm ×（厚さ）約 7.8mm リストバンド S：（長さ）約 214mm リストバンド L：（長さ）約 250mm
質量	コアのみ：約 6g コア + リストバンド S：約 20g コア + リストバンド L：約 21g
NFC	対応
防水／防塵	防水（IPX8）、防塵（IP5X）
メモリ	RAM　16KB ／ ROM　256KB
Bluetooth® 標準規格	Bluetooth® 4.0（Bluetooth® Low Energy）
充電端子	microUSB 端子
内蔵電池	リチウムイオン電池
付属品	リストバンド（S、L 各 1）／ microUSB ケーブル／取扱説明書／保証書

仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

これはインターネット版刊行物です。© 個人使用目的でのみ印刷することができます。

重要な情報

防水／防塵性能

本機の防水／防塵性能は、下記の表に示す侵入保護（IP）等級 IPX8 および IP5X に適合しています。
この侵入保護（IP）等級は、本機が防塵性と低圧の水流に対する耐性を備えていて、水深 3 メートルまでの淡水（非塩水）に 30 分間浸しても影響がないよう保護されていることを意味します。

ご使用にあたっての注意事項

次の注意事項を守って正しくお使いください。

- 本機には防水／防塵性能が備わっていますが、粉塵、砂、泥の極端に多い環境や、極端に高温または低温の湿潤環境に不必要にさらすことは避けてください。microUSB 接続端子の防水機能はあらゆる環境や条件を想定したものではありません。
- 本機が塩水に浸かったり、microUSB 接続端子が塩水に触れたりしないよう注意してください。海岸にいる場合は、本機を海水に近づけないでください。
- 本機が洗剤や液体薬品に触れないよう注意してください。本機が真水以外に触れた場合は、真水ですすいでください。
- 本機に損傷がある場合は、防水／防塵性能が低下するおそれがあります。
- 本機に水がかかった場合は、microUSB 接続端子の回りの水分を拭き取り、乾燥させてください。
- AC アダプター、microUSB ケーブルなどの対応アクセサリーはいずれも単体では防水／防塵性能を備えていません。
- 本機の乱暴な使用や誤った使用（当該 IP 等級による限度を超える環境での使用を含む）による故障や損傷は、保証対象外となります。なお、本機器の使用方法について不明な点がある場合は、お客様ご相談センターまでお問い合わせください。
  http://www.sonymobile.co.jp/support/

これはインターネット版刊行物です。© 個人使用目的でのみ印刷することができます。

Legal information

Sony SWR10

ご利用になる前に、別紙の取扱説明書リーフレットをお読みください。

本ユーザーガイドは、Sony Mobile Communications AB、または各地域の関連会社が保証なしで発行するものです。誤植、不正確な情報、またはプログラムおよび機器の改良に伴う記載内容の変更は、予告なく任意の時に Sony Mobile Communications AB が行います。当該変更箇所は、本ガイドの改訂版 (最新版) に適用されます。

All rights reserved.
©2014 Sony Mobile Communications AB.

Bluetooth® 機器の相互操作性および互換性は、状況に応じて異なります。
ソニーおよび Sony はソニー株式会社の商標または登録商標です。
「Bluetooth」は Bluetooth SIG, Inc. の登録商標であり、当社はライセンスに基づいて使用しています。
Bluetooth® のワードマークおよびロゴは、Bluetooth SIG, Inc. が所有する登録商標であり、ソニーモバイルコミュニケーションズ株式会社はこれらのマークをライセンスに基づいて使用しています。その他の商標およびトレードネームは、それぞれの所有者に帰属します。
ここに明示されていない他の権利についても権利を留保します。
詳細は、*http://www.sonymobile.co.jp/* を参照してください。
イラストは説明を目的として使用されており、実際のアクセサリーを正確に示すものではありません。

Declaration of Conformity for SWR10

We, **Sony Mobile Communications AB** of

Nya Vattentornet

SE-221 88 Lund, Sweden

declare under our sole responsibility that our product

Sony type RD-0070

and in combination with our accessories, to which this declaration relates is in conformity with the appropriate standards **EN 300 328:V1.8.1, EN 301 489-17:V2.2.1, EN 301 489-3:V1.4.1 and EN 60 950-1:2006 +A11:2009 +A1:2010** following the provisions of, Radio Equipment and Telecommunication Terminal Equipment directive **1999/5/EC**.

Lund, November 2013

CE 0682

Pär Thuresson,
Quality Officer, SVP, Quality & Customer Services

FCC Statement

This device complies with Part 15 of the FCC rules. Operation is subject to the following two conditions: (1) This device may not cause harmful interference, and (2) This device must accept any interference received, including interference that may cause undesired operation.
Any change or modification not expressly approved by Sony may void the user's authority to operate the equipment.
This equipment has been tested and found to comply with the limits for a Class B digital device, pursuant to Part 15 of the FCC Rules. These limits are designed to provide reasonable protection against harmful interference in a residential installation. This equipment generates, uses and can radiate radio frequency energy and, if not installed and used in accordance with the instructions, may cause harmful interference to radio communications. However, there is no guarantee that interference will not occur in a particular installation.
If this equipment does cause harmful interference to radio or television reception, which can be determined by turning the equipment off and on, the user is encouraged to try to correct the interference by one or more of the following measures:

- Reorient or relocate the receiving antenna.
- Increase the separation between the equipment and receiver.
- Connect the equipment into an outlet on a circuit different from that to which the receiver is connected.
- Consult the dealer or an experienced radio/TV technician for help.

これはインターネット版刊行物です。© 個人使用目的でのみ印刷することができます。

AVISO IMPORTANTE PARA MÉXICO

La operación de este equipo está sujeta a las siguientes dos condiciones: (1) es possible que este equipo o dispositivo no cause interferencia perjudicial y (2) este equipo o dispositivo debe aceptar cualquier interferencia, incluyendo la que pueda causar su operación no deseada.
Para consultar la información relacionada al número del certificado, refiérase a la etiqueta del empaque y/o del producto.

Alimentación: 5,0 Vcc

Industry Canada Statement

This device complies with RSS-210 of Industry Canada.
Operation is subject to the following two conditions: (1) this device may not cause interference, and (2) this device must accept any interference, including interference that may cause undesired operation of the device.
This Class B digital apparatus complies with Canadian ICES-003.
Cet appareil numérique de la classe B est conforme à la norme NMB-003 du Canada.

Avis d'industrie Canada

Le présent appareil est conforme aux CNR d'Industrie Canada applicables aux appareils radio exempts de licence.
L'exploitation est autorisée aux deux conditions suivantes: (1) l'appareil ne doit pas produire de brouillage, et, and (2) l'utilisateur de l'appareil doit accepter tout brouillage radioélectrique subi, même si le brouillage est susceptible d'en compromettre le fonctionnement.

有毒有害物质说明

在正常使用条件下，我们的环保使用期限是 20 年。

部件名称	有毒有害物质或元素					
	铅 (Pb)	汞 (Hg)	镉 (Cd)	六价铬 (Cr6+)	多溴联苯 (PBB)	多溴二苯醚 (PBDE)
配件	X	O	O	O	O	O
充电器（如需要）	X	O	O	O	O	O

O: 表示该有毒有害物质在部件所有均质材料中的含量均在 SJ/T 11363-2006 规定的限量要求以下。

X: 表示该有毒有害物质至少在该部件的某一均质材料中的含量超出 SJ/T 11363-2006 规定的限量要求。（打“X”的技术原因是因为目前为止没有可替换技术。）

无线电发射设备型号核准证(CMIIT ID):2014DP0557

これはインターネット版刊行物です。© 個人使用目的でのみ印刷することができます。